

# 築港・天保山伝説の祭り紹介！(2016(平成28)年節分)

## G. 火力・迫力・火祭！ 「港住吉神社節分祭 火祭り」 (前田嘉哉)

2月3日、薄曇りがかかる中、港住吉神社にて、大規模な火焚きが行われた。来場者は点火時間が近づくと増えていき、護摩木を火にくべる時には約600人となり、みな点火を今か今かと待ち侘びていた。点火すると、白い煙がもくもくと上がり、高さ4mの火柱へと姿を変えていった。火祭のご利益か、人々の願いが込められた護摩木が全てくべられた頃には空も晴れ渡った。出口では、来場者に餅、豆、御神酒が振る舞われ、みな笑顔で会場を後にした。



## H. 熱狂の豆まき！ 「築港高野山節分祭 豆まき」 (前田嘉哉)

山伏によるホラ貝の音とともに、築港高野山釈迦院で毎年恒例の豆まきが行われた。学校が終わる時間でもあったためか、福引きには多くの子供達が列をなしていた。会場には港警察署、歌手の青木美香子さん、鬼になった(株)間口の社員さん、ダンスユニット nico RU のみなさんが駆け付け個性的なパフォーマンスを披露した。最後の豆まきで、会場のボルテージは最高潮となった。

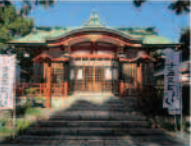


## なぜ築港には「別格・別宮」で他と違う特別な神社仏閣あるの？ —古くから港町大阪の玄関口で大阪経済の一大中心地だった築港

みなさんは大阪の都市としてのなりたちをどのようにみますか？ 摂津石山本願寺や聖徳太子の四天王寺のような「宗教都市」？、近世からの日本中の商業・流通の中心？、それとも第二次大戦までの日本の産業革命の中心だった大産業都市「大関」？ **大阪は本当のところ、「港町」がルーツであることは間違いありません。** 大阪の最大の特徴、それは、瀬戸内海と東海道に開けた日本一の交通都市＝港町でした。この交通の要衝という点では東京、京都にも負けません。だから「天下の台所」になりました。

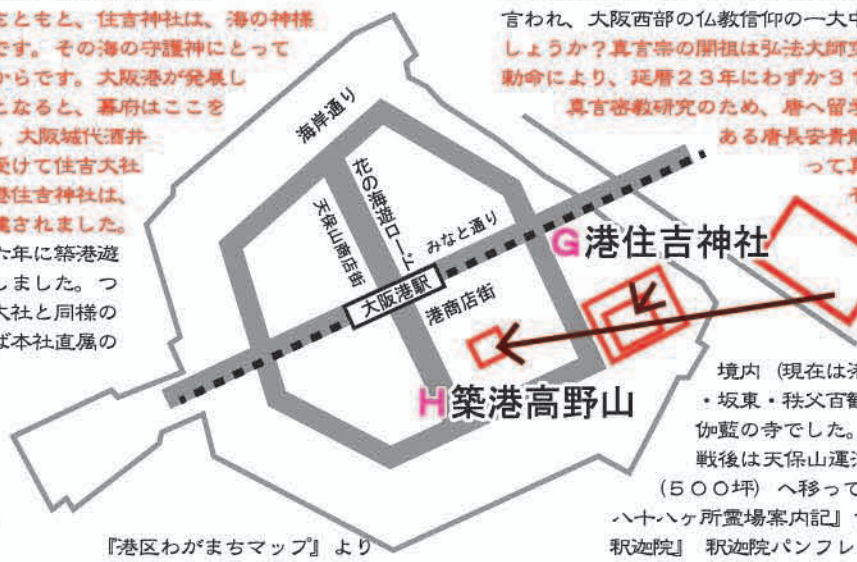
### 港住吉神社

「港住吉神社」は、日本全国の2300ある住吉神社の総本社であり式内社、官幣大社、摂津一の宮である住吉大社の「別宮」と言われ、住吉大社と同じ住吉四柱神(すなわち3箇男と神功皇后)を祀っています。  
★なぜ特別なんでしょうか？もともと、住吉神社は、海の神様であり、海運の、港の守護神です。その海の守護神にとって一番重要な場所は港であったからです。大阪港が発展し江戸時代、日本の経済の中心となると、幕府はここを重視し、1842(天保13)年、大阪城代酒井雅楽頭(後の大老)が幕命を受けて住吉大社より同じ4柱の分室を置き、港住吉神社は、最初は天保山(目印山)に創建されました。その後、天保町をへて、大正六年に築港遊園地のあった現在の地に移転しました。つまり、住吉大社の別宮なので大社と同様の神様をまつり別格です。いわば本社直属の分室のような支店なのです。昔は天保山・港崎、ハ幡屋、築港の3方に鳥居が開かれ、正真正銘、港地域の信仰の中心でした。[参考資料]『大阪府神社史料大阪府全志』。港住吉神社資料。



### 築港高野山

「築港高野山」は、「真言宗 準別格本山」であり、仏教の開祖からつた「釈迦院」という名誉ある名称をもっています「別格」なのです。大阪四柱神と言われ、大阪西部の仏教信仰の一大中心でした。★なぜ特別なんでしょうか？真言宗の開祖は弘法大師空海です。空海は、桓武天皇の勅命により、延暦23年にわずか31才で当時の新しい仏教だった真言密教研究のため、唐へ留学され、そこで密教の第七祖である唐長安青龍寺の惠果和尙から真言密教の開祖になりました。その開祖が唐に向け大阪港から船出をしたので、そのご功績をたたえて、大阪港に、1910(明治43)年、約7800坪の敷地で創建されました。当時の境内(現在は港崎地区)には四国霊場・西国・坂東・秩父百観音霊場など多数の諸堂ある大伽藍の寺でした。その後、空襲のため全焼、終戦後は天保山運河の高野堀拡張の為現在の地(500坪)へ移っています。[参考資料]『摂津国八十八ヶ所霊場案内記』古寺顕彰会発行。『築港高野山釈迦院』 釈迦院パンフレット。築港高野山ホームページ。



編集後記：タイトルの写真も、今年の節分の港住吉神社の火祭りや築港高野山イベント(歌手の青木美香子さん出演)です。タイムズは1月16日読売新聞で取り上げられました。★本タイムズのバックナンバーは(一社)ホームページ <http://minatomachi-o.jp/> をご覧ください。

港まちづくりタイムズ第2号 発行者：港区産官学連携会議「港区CRテーブル(港区役所、(一社)港まちづくり協議会大阪(代表理事：重山英樹)、大阪市立大学創造都市研究科小長谷研究室)」、発行日：2016年2月25日、編集事務局：(一社)港まちづくり協議会大阪。本媒体は文部科学省のCOCプロジェクト事業「大阪の再生・賦活と安全・安心の創生をめざす地域志向教育の実践」の予算を使用しています。

みんなで盛り上げよう  
2017年は大阪港開港150年

# 港まちづくりタイムズ 第2号

発行者：港区産官学連携会議「港区CRテーブル(港区役所、(一社)港まちづくり協議会大阪、大阪市立大学創造都市研究科小長谷研究室)」  
発行日：2016年2月25日 編集事務局：(一社)港まちづくり協議会大阪(大阪市港区築港3-7-15 港振興ビル206A 06-6572-0017)



港区長 田端尚伸

大阪港の「小さな宝島」、築港・天保山。淀川の(現在の安治川)の最下流にあって、西を向く大阪の玄関口は歴史や自然が育んだ「宝」の宝庫。江戸時代から聳え立つ天保山、大正・昭和レトロの赤レンガ倉庫、南船三井築港・天満屋ビル、由緒正しき築港高野山、港住吉神社、素晴らしい夕陽のダイヤモンドポイント、今に残る船員街の雰囲気・枚挙にいとまがありません。港住吉神社の石碑は実は、天保山が日本一低いのは、等々、お宝の一つ一つが個性ある生い立ちを語ります。

斐垣廻船から蒸気船、クルーズ船へと、いつの時代にも交易・交流の拠点としてにぎわい、ここに住む人達はホスピタリティにあふれ、訪れる人々を温かく迎えます。

現在は年間200万人以上が訪れ、数多くのクルーズ船が来航する宝島。ここに埋もれる宝をテーマ性やストーリー性という「線」で結び、その「線」を結んで「面」として、地域のホスピタリティでラッピングすれば、個々の宝の魅力が相乗的に向上してエリアイメージのブランド化につながるものと大いに期待します。そして「点」から「面」をめざす取組として多言語表示板や民間活力によるモビリティの導入を是非検討したいと思えます。

三方を海と川に囲まれた宝島。舟運で水都大阪の中心部と、クルーズ船で世界の港と結んで、大阪を代表する集客観光拠点へ！と、更に期待は膨らみます。平成30年は大阪港開港150周年。大きな節目と意識して取り組みます。

## 港区のまちづくり (築港・天保山エリア)

## 港まちエンジン会議の取り組み(その2)

港区役所では、二〇一四(平成二六)年から、地域団体、企業、学識経験者のみなさんとともに、本格的な市民参加の会議「港まちエンジン会議」を開催し、エリア資源の発掘やさらなる魅力づくりに取り組んでいます。

二〇一五(平成二七)年度の第一回検討会は、七月二日に開催し、まず座長である区長の挨拶の後、「二 今年度の取り組みについて」として、区役所より「運営体制」「回遊性向上事業」「赤レンガ倉庫横広場の活用」について説明し、「情報発信事業」としては、ホームページ「築港天保山通信」「大阪港の小さな宝島(以下写真)」のフェイブック開設とロゴ使用のびびき、ファン倶楽部「祭天倶楽部」設置について紹介しました。つぎに、「三 今年度の天保山まつりの概要」について担当者よりご説明いただきました。



後半は、現状をふまえた今後の方向性についての課題を発表しました。「四 水都大阪の玄関口、回遊拠点としての築港天保山」においては「水の回遊性」「陸の回遊性」を向上させることの重要性が指摘されました。また、「五 他都市事例から学ぶ開港150周年に向けた取り組み」では、横浜・神戸・シンガポール・ハリファックスなどの旧港活性化事例が報告されました。

これらの問題を整理し、最後に、課題①「回遊性」、課題②「情報発信」、課題③「観光資源を活かす」などの諸点を踏まえて、意見交換では、「

「エリア内を回遊していただき、来訪者が過ごす時間を長くし、経済がエリアで循環するように」観光を振興することにより地域イメージがアップし、人口増につながる「クルーザーで遊べるように」

「斐垣廻船はすばらしい」などのご意見がありました。

二〇一五(平成二七)年度の第二回検討会は、二月四日に開催し、まず座長である区長の挨拶の後、「二 戦略的な観光施策(広域行政)と連携したまちづくりに向けて」として、「水の回遊性」「陸の回遊性」の重要性について、地域のにぎわいづくりやコミュニティ形成の促進(市民協働的手法)として、①築港・天保山にぎわいまちづくり実行委員会の取り組み・天保山まつり(平成二〇年度から実施・八回目)、赤レンガ倉庫横広場のとりくみ、②花の回遊ロード美化協議会の取り組み(平成二一年度から実施)、現状の課題(恒常的な賑わい、エリア全体の賑わいに至っていないこと)を紹介しました。そして、今後の四つの課題「回遊性」「情報発信」「地域資源の観光資源化」「エリア魅力を活かした活力あるまちづくり」について説明しました。

続いて、「三 第八回天保山まつり」の報告があり、「四 二〇一八年開港一五〇周年に向けた基本コンセプト(案)」を説明しました。最後に意見交換をおこない「大阪港開港一五〇周年は重要で色々な所でコラボしたい」「ストーリー作りの大切さ」「集客の量・規模の大切さ」などのご意見が出ました。

会議と並行して作成され市民のみなさんに配布されている成果物(写真右)「五感を刺激する「築港・天保山」ガイドBook 大阪港の小さな宝島」(港町エンジン会議発行)(写真左)「築港・天保山のひとびと地図」(港区役所発行)





# 築港伝説!

## A. 大阪の二大観光スポットをつなぐ「キャプテンライン」その知られざる魅力に迫る!! (上田篤・大西由佳利)

海遊館とUSJ、どちらも人気スポットである。だが、海遊館のある築港とUSJには直通電車が無い。そこでできたのがキャプテンラインだ。乗船時間は約10分。二点をほぼ直通でつなぐ。今回は、キャプテンラインの逸話と乗った感想を元にした「船から見るべきポイント」を紹介し、その魅力に迫っていく。

### ●魅力その① 至るところに「アングルトリス」で知られる柳原良平氏の船長イラストが!

キャプテンラインでは、船体などに「アングルトリス」生みの親の柳原氏のイラスト(写真左)が描かれている。この裏には、キャプテンライン奥野社長と親交のあった氏が、船体デザインと社名決定に携わった経緯があった。



### ●魅力その② クルーは原則女性! 珍しい運行スタイル

キャプテンラインはクルーが原則女性である。この取り組みは、開始当時の女性クルーの状況に影響している。「母校(神戸商船大)が1980年代に男女共学になったが、働ける船がなかった。キャプテンラインを始める時それを思い出して、現在の形になった。」そして二人の娘さんへの思いもあった。「娘が船乗りになるかもと思ってキャプテンラインを作ったけど、結局ならなかった」そう社長はおっしゃっていた。

### ●魅力その③ 外から目が難せない船旅! →右写真

乗船した際は、まずオープンデッキの2階に行ってみてほしい。出発の際に女性クルーが岸から手を振ってくれる。そして出発後の注目ポイントは、なんとこちらも景色である。海遊館や観覧車、USJのジェットコースターが見え、どちら側から出発しても到着してからが楽しみになる景色だ。また港独特の風景や、前後に別の船が走っているのが見える他、大きな橋の下も運航するので、普通は見えない橋の裏側を見られるなど見どころたくさんだ。築港とUSJの両方を楽しみたいなら「キャプテンライン」にぜひ! 乗船料は片道:大人(中学生以上)700円、小学生(6歳以上)400円、幼児(4歳以上)300円。運航ダイヤは公式サイト(www.mm.jp.or.jp/Capt-Line/)を確認できる。

★大阪市の観光地(都市魅力創造戦略エリア)の1つ「築港」には都市伝説が満載!  
★A. USJと築港を結ぶ船はあの「アングルトリス」と同じ作者のおじさんイラストで飾られているって本当? B. レゴランドは大人だけで行ける日があるって本当? C. 築港にはお洒落なカフェ風店内で食べられるうどんがあるって本当? 羽根のついた鯛焼きがあるって本当? D. 築港のお店は法人番号が多かったのが個性が強いところが多いって本当? E. 赤レンガ倉庫では最近アーティストチックなイベントが多いって本当? F. 年越しカウントダウン花火大会を楽しむには天保山公園がベストスポットって本当? G.H. 築港・天保山は、古くから港町大阪の玄関口で、大阪経済の一大中心地だったから、神社仏閣も「特別の別格」って本当?

## B. 大人も子供も楽しめる! わくわく空間「レゴランド」(中村真由)

レゴランド・ディスカバリー・センター(以下、レゴランド)という施設をご存知だろうか。レゴランドは、3歳〜10歳までの子供とその家族を対象にした施設である。体験型アトラクションがほとんどで親子で協力する場面も多く、帰る頃には親子の絆が深まっていること間違いなしだ。ここでは大阪の名所を一瞥することができる。なぜなら、大阪の名所をすべてレゴで再現したコーナーがあるのだ。再現された名所単体だけでも素晴らしいのだが、そこに集う人々もレゴで表現されていて、様々なストーリーが散りばめられているところも見どころだ。レゴランドでは、あくまで子供が主役であるため原則大人だけで入場することができない。しかし、安心してほしい。月に1回の頻度で「大人のレゴナイト」が開催されているのである。大人のレゴナイトは18歳以上の大人のみが参加でき、レゴナイト限定のイベントも行われている。



# 築港・天保山 伝説のイベント紹介! おまつりで、築港・天保山の良さを再発見!

## E. 赤レンガで魅せる大人のジャズ「大阪光の饗宴 W クラシック Xmas ライブ By BONCHI OSAMU BAND」(堀口泰聖)

昨年のクリスマスに、港区の赤レンガ倉庫GLION MUSEUMにて、芸能人のぼんちおさむさんを主体とするバンドであるBONCHI OSAMU BANDのライブが行われた。会場には年齢を問わず地域の方が多く集まり、時折コール&レスポンスで会場が大合唱するなど大いに盛り上がった。会場に入ると、入り口には関西最大級のモミの木ツリー。イルミネーションとしてライトアップされ、存在感を放っていた。ライブが始まる前の赤レンガ倉庫前では観客と大合唱をする場面も。食事をしながら演奏を楽しむことができるライブ会場。風情ある赤レンガ倉庫とおしゃれなジャズが一層大人の空間を作り出していた。ぼんちおさむさんはクラシックカーに乗って登場。ギャグの効いた歌や本格的なジャズ、さらにMCではトークなどを披露。大阪府の公式マスコットキャラクター(もぎやん)も会場に駆けつけ、会場はさらに盛り上がった。



## F. 年越しは天保山で決まり! 「天保山カウントダウン花火」(亀田誠)

12月31日から1月1日にかけて、各地でカウントダウンイベントが行われた。天保山エリアでは、観光船サンタマリア号の船上で新年を迎えられるカウントダウンクルーズが航行され、めでたく満席御礼となった。天保山公園内にある記念碑付近には、天保山大橋と川を挟んだ此花区にあるUSJから打ち上げられる花火を見ようと、人々が集まった。新年を迎えると、予定通り花火が打ち上げられ、対岸からの熱気や歓声も伝わってきた。水鏡に映る花火は眩しいほどに輝き、打ちあがる度に見物していた人々からは歓声が上がった。公園内で屋台がオープンすれば、ますますこのエリアの年越しが盛り上がっていくのではないだろうか。大阪市営地下鉄では、毎年大晦日から元日にかけて終夜運転を行っており、天保山エリアへ気軽にアクセスできる。地元の方も、そうでない方も、年越しには天保山エリアに足を運んでみてはいかがだろうか。



# 築港・天保山 伝説の店紹介!

## C. 築港・天保山の伝説の歴史的名建築とお店紹介④⑤ (尾上素月)

### 歴史建築 船三井築港ビル

大阪が大大阪と呼ばれた時代に海の玄関口に栄えた築港地区。船三井築港ビルは、その地に前身の大阪商船が昭和8年に建てた3階建てのビルである。このおしゃれな近代モダン建築に店を構えている右の2店が人気である。



### 「築港麺工房」

おしゃれな空間で楽しむ創作うどん。モダンで清潔感のある天井の高いおしゃれなお店は、ドアを開けると、うどんと出汁の香りに包まれ、あたたかな気持ちになる。平日は周辺の会社員、週末は海遊館のお客様で賑わう。オーソドックスなきつねうどんなどのメニューに加え、若い客層の方にもうどんの美味しさを知ってもらうために、洋風のうどんのバリエーションも豊富。洋風といっても「昆布」「岩布」「味噌」などを隠し味に使い、和と洋を融合させた創作うどんである。一番人気は温玉豆乳カルボナーラ(850円)。洋風うどんの中でも昆布の甘みを感じられる一品である。このうどんはとろとろの温玉、濃厚な豆乳クリームにチーズをふんだんに使った濃く深い味わいである。寒い冬には冬季限定あったか鍋焼きうどん(左写真860円)もオススメ。具材の旨味がしっかり染み込んだうどんと七種の具材を目の前でグツグツさせ、出来上がりを待つことさえも至福の時間だ。

### 「TAIYAKI CAFE CRISPY CRUNCH」

こだわり抜いた絶品たい焼き 会社員や家族連れ、外国人も含む観光客のお客様で賑わうこのお店は木を基調とした落ち着いた雰囲気のおしゃれなたい焼き屋さん。会社の手土産で持って行く方も多い。パリパリの羽根つきであることがこのたい焼きの特徴だ。たい焼きの生地もフレンチのシェフ監修のもと粉から作られており、また餡も手作りで作られているというこだわりの品。人気はサングという5種類の豆を使った粒あん(200円)。カスタードやビターチョコレート、また期間限定などのその他の味も店長こだわりのたくさんつまっていて絶品である。お店の内装からたい焼きまでこだわり抜いた従来のたい焼き屋さんとは一味違うこのお店に通い続けることだろう。



# 築港・天保山 伝説の店紹介!

## D. 築港・天保山の伝説のお店紹介⑥ (永長千晴)

### 洋食の「ビーハイブ」

#### 進駐軍も絶賛! 名物ハンバーグ

1951年創業、現在のご主人で3代目となる洋食屋さん。戦時下の船舶で調理長を経験されたご祖父が、ご夫婦で築港の地で創業された。戦後の復興期であったため、進駐軍に大人気だったそう。看板メニューは、進駐軍も絶賛のハンバーグステーキ1380円。ポリウムのある熱々ハンバーグにそっとナイフを入れると、中からジュワッと溢れ出す肉汁。表面の卵の衣で、調理過程でうまみを逃がさないのが秘訣。ひと口かむごとに肉そのものの旨味が感じられる、創業当時から変わらない味だ。そして、これをさらに引き立てるのがオリジナルのタルタルソース。組み合わせを不思議に思うかもしれないが、1度ハマると好きな人は毎日食べたくなってしまふ。落ち着いた店内には個室もあり、パーティーもできる。要望があればまずは相談してみても? ■営業時間/11:00~15:00、17:00~21:00 ■定休日/日曜(祝日は要問合せ) TEL / 06-6571-3331

